

ひがたかんタイムズ

2011年5月1日発行
 < 第16号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂



大師河原河川防災ステーション 川崎区大師河原で

地震の影響はそいつも

東北地方太平洋沖地震による影響が続く日本国内であるが、未曾有の災害がもたらした衝撃的な被災地の姿に誰もが思考停止状態に陥っていたせいか、それにより発生した津波の猛威が東京湾にまで及んでいたことはあまり周知されていない。閉鎖性水域である東京湾は湾口部の水深が深く、入口も狭いことから津波の力は拡散されやすいとされている。だが、木更津市では船舶が流され沈没する大きな被害があり、養殖に用いている海苔網が広範囲で流されるなど、湾全体の漁業にも影響が生じているのが事実だ。その東京湾に流れ込む多摩川や鶴見川でも、地震発生当日に川を遡る水の流れが観測された。国土交通省京浜河川事務所によれば、多摩川・鶴見川・相模川そ

れぞれの管理区間にある堤防・護岸・水門などの施設点検では、地震による異常は見られなかったと報告されている。しかし、多方面への影響を見る限り、十分な備えがあったとしても何が起こるか分からないということをごこの震災により誰もが否応なく認識させられたことだろう。更なる対策を話し合い、実行し、変わって行かなければならない時が今なのである。さて、安心安全の拠点である大師河原水防センターはどうだったかと言つと、四本ある大型水槽の水が揺れにより溢れ、二階会議室のテーブルが大きく移動していた他は特に被害は発生していない。その水槽にいる生きものたちは地震発生時何を思っていたのだろう。地震を予知する生物として有名なのがナマズであるが、ウナギにもその能力があると言われている。一年以上も面倒を見ているウナギは地震発生前には何も伝えてはくれなかった。可愛がっているつもりでも、その愛は一方通行だったのかもしれない。

干潟のゆかいな仲間たち



第16回 ウナギ

文 佐川麻理子



ウナギは

古くから日本人に親しまれていた魚のひとつと言えますが、ここ川崎の町でも大師詣りの参拝客を相手にする料亭の川魚料理として昔から扱われていたようです。さて、ウナギの暮らし方や育ち方は今でも謎とされているところが多くて最近の研究でようやく自然の産卵場所が日本から遠く南下したマリアナ海溝の付近であることがわかりました。普段私達が自然の中のウナギを目にするのはほとんどありませんが、ここ多摩川河口でも時折、大きな網で小魚を獲っていると七〜八cmほどのちいさな稚魚と思われる個体が入ることがあります。干潟館の水槽の中に入れて飼育を試みているのですが、たいていは水槽の

中で行方不明になったり他の生きものたち（主にカニなど）にいじめられたりと、なかなかうまくいきません。でも以前に市民の方からいただいたウナギの成魚が現在一年以上飼育されている水槽もあります。やはり水槽の中でも暗い所が好きなので、パイプや竹筒の中にちゃっかりと居座っている様子が時折観察できます。干潟館を訪れたときには是非のぞいてみてください。

★かわさき多摩川博2011

かわさき多摩川博2011（川崎市・NPO法人多摩川エココミュニティ・NPO法人多摩川エココミュニティ）の一環として行われる多摩川河口干潟観察会を、今年「かわさき」「とびハゼ」「だし」三校の水辺の楽校を中心として六月五日（日）に開催します。広い殿町干潟でドロドロになって生きものたちと触れ合おう。問い合わせや申し込みは各水辺の楽校まで。

http://www.tamariver.info/daishi/（だし水辺の楽校）

★第6回多摩川河口干潟生物調査

多摩川河口干潟観察会・学習会・生物調査（SCOP100）が今年も開催されます。多摩川の河口に広

がる干潟でトビハゼやカニなど、どんな生物がいるかみんなで探してみよう。SCOPが百本あれば何かが起こる。何かができる。

【干潟観察・学習会】

- ◎日時／5月15日（日）9時～16時
- ◎場所／大師河原水防センター他
- ◎申込締切／5月12日（木）

【河口干潟の生物調査】

- ◎日時／6月4日（土）9時～16時
- ◎場所／大師河原水防センター他
- ◎申込締切／5月27日（金）
- ◎参加費／無料
- ◎定員／各回100名（要申込）

- ◎主催／財団法人港湾空間高度化環境研究センター
- ◎共催／NPO法人海辺つくり研究会、大師河原水防センター他
- ◎後援／東邦大学理学部東京湾生態系研究センター

- ◎問い合わせ・申し込み／NPO法人海辺つくり研究会
- ☎045（321）8601
- ✉ umibeken@nifty.com

干潟館広報

- 6月は環境月間です
- 川にゴミをすてるのはやめよう。
- 川の水を汚さないために、生活排水を減らしましょう。

大師河原干潟館イベント情報

5月7日（土）エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中

5月22日（日）だし水辺の楽校
干潟観察会／カニや小魚に会おう！
場所／干潟館 時間／10時～12時

6月5日（日）かわさき多摩川博
2011多摩川河口干潟観察会（だし水辺の楽校他）
集合場所／殿町第三公園（予定）
時間／10時～12時

※「だし水辺の楽校」の参加費（保険代など含む）は200円です。定員30名となっていますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

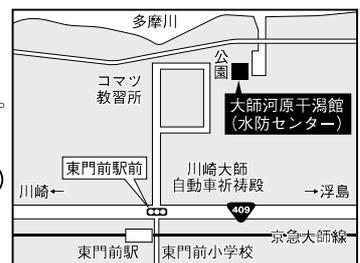
- 川崎市建設緑政局多摩川施策推進課
- ☎044（200）22608
- 大師河原干潟館（水・土・日・祝）
- ☎044（287）7882



ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
- 〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中！

◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館

Tel：044-287-7882 Fax：044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

Tel：044-200-2268 Fax：044-200-7703 Email：53tamasu@city.kawasaki.jp

http://www.tamariver.info/higatakan/

緊急災害対策派遣隊 TEC-FORCE

テック・フォースとは？



京浜河川事務所災害対策室 京浜河川事務所ホームページより

東日本大震災による被災地域からの支援要請を受け、国土交通省京浜河川事務所から延べ七二名の職員がテック・フォース隊員として現場に派遣され、支援活動等を実施した。さて、このテック・フォースとは何なのか？



2011年7月1日発行
 < 第17号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉 茂

地震・水害・土砂崩れなど大規模自然災害が発生、または発生する恐れがある場合、被災地域の自治体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的とし、平成十六年(二〇〇四年)から国土交通省に設置された緊急災害対策派遣隊がテック・フォース(TEC-FORCE: Technical Emergency Control Force)である。本省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方支分部局、気象庁に設置し、先遣班、現地支援班、情報通信班、高度技術指導班、被災状況調査班、応急対策班、輸送支援班、地理情報支援班、気象・地象情報提供班より構成され、大規模自然災害が発生したときは、被災地にテック・フォースを派遣し、被害状況の調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体等への支援が行われる。今回の震災では、京浜河川事務所を含む関東地方整備局から、茨城県、栃木県、千葉県、福島県、岩手県等へ組織を越えた緊急派遣を行い、昼夜を問わない復旧作業にあたった。大師河原水防センターの車両倉庫に格納されているポンプ車や照明車も大活躍したのである。

干潟のゆかいな仲間たち



文 佐川麻理子

第17回 スズキ



釣り人のあいだで人気の魚といえばやはりスズキ。成長すること、セイゴ、フッコ、スズキと呼ぶ名がかわる出世魚です。大きな目玉に下あごがつきだした口で小魚を貪欲に食べます。冬は河口や湾の入り口で暮らし、このころに産卵をします。春から秋にかけては川をさかのぼり、ダムや堰がなければ時には数十キロも上流に行くともあるといわれています。多摩川の河口でも川に立ちこんでルアーをふる釣り人を見かけるのも主に夏の時期です。東京湾を漁場とする千葉県は国内でも有数の漁獲量を占めます。身は白身でたんぱく。洗いや刺身がおいしいとされていますが、ムニエルや唐揚げでもなかなか美味。さて、干潟館の

水槽にもセイゴがくらしています。ハゼ釣りの外道（目的以外の魚種）で釣れたものですが、意外に居心地が良かったようで、すくすくと育つてくれました。ときおり網で取ってきたハゼやボラの幼魚をあげるのですが、なかなか警戒して食べる姿を見せてはくれません。しかし翌日になると、水槽の中にいたはずの小魚がすっかりいなくなっています。閉館して人けの無くなった時に、さぞかし我が物顔で暴れているのかもしれませんが。

★サイクリングコース暫定解放

川崎区殿町三丁目の多摩川堤防上にある、多摩川河口青少年サイクリングコースは、堤防工事のため一部区間が閉鎖されていましたが、六月十五日から堤防下流側への通行が出来るようになりました。今後十一月以降に、川崎市によりサイクリングコースの舗装工事が実施される予定です。舗装工事実施の際は、約一ヶ月通行止めとなります。詳しくは左記の担当部署へお問い合わせ下さい。

◎堤防工事についてのお問合せ
京浜河川事務所田園調布出張所

☎03(3721)4288

◎サイクリングコースのお問合せ
川崎市建設緑政局多摩川施策推進課
☎044(200)2265

★第4回エコ☆カップいかだ下り

ペットボトル等の資源ゴミや廃材を利用してつくったいかだによる「かわさき多摩川博2011第4回エコ☆カップいかだ下り」が開催されます。ユニークな創作イカダが集まる楽しい催しですので、みなさん応援に来て下さい。今年は「だし水辺の楽校」でもいかだをつくって参加します。お楽しみに。

※出艇の申し込みは終了しました。

◎日時／9月4日(日) 10時～13時

※雨天の場合は11日(日)に延期。

◎大会本部／二ヶ領せせらぎ館

◎コース／二ヶ領用水宿河原堰下から多摩高等学校裏河川敷

◎主催／NPO法人多摩川エコミュージアム・川崎市

◎問い合わせ／同NPO

☎044(922)1025

<http://www.seseragikan.com/>

干潟館広報 落雷や増水に注意!

●積乱雲を見たり、雷の音が聞こえたら

安全な場所に避難しよう。

●豪雨や夕立による急な川の増水に注意。

大師河原干潟館イベント情報

7月2日(土) エコクラフト教室

自然素材で色々なものをつくろう!

場所／干潟館 時間／開館中

7月16日(土) だし水辺の楽校

干潟の生きもの観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

8月6日(土) エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

8月20日(土) だし水辺の楽校

エコ☆カップのいかだをつくろう!

場所／干潟館 時間／10時～12時

※「だし水辺の楽校」の参加費(保険代など含む)は200円です。定員30名となっておりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

☎044(200)2268

大師河原干潟館(水・土・日・祝)

☎044(287)7882

大師河原干潟館(水・土・日・祝)

☎044(287)7882

ひがた 大師河原干潟館(大師河原水防センター)

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



◆お問い合わせ(水・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

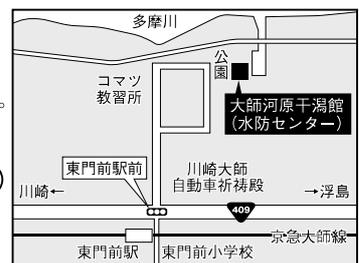
◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

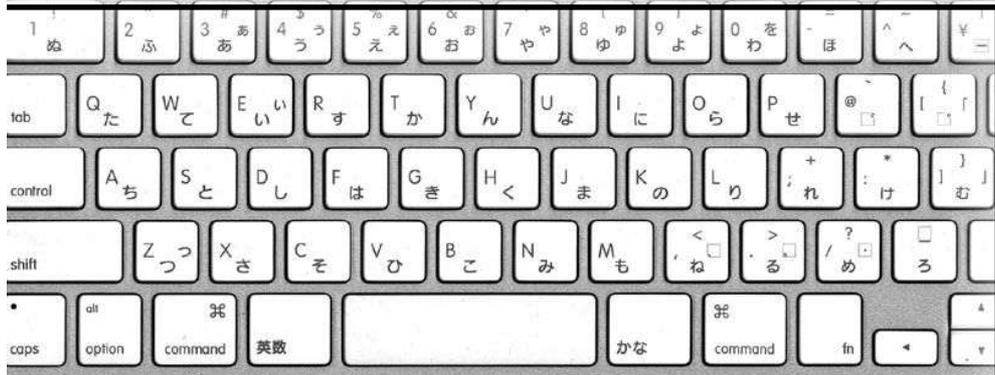
<http://www.tamariver.info/higatakan/>

入館無料

生きものカードプレゼント中!



河川防災とIT ① 多摩川の光ファイバーネットワーク



インターネットの普及と共に、一般個人宅へも伝送路として多く利用されるようになった光ファイバー。大容量のデータを高速かつ安定して送受信できるのがその利点である。通信網の整備にはお金と時間がかかるが、IT社会が個人、企業、行政まで到来した現在、我々の生活に無くてはならないもののひとつとなった。当然、光ファイバーは河川管理にも用いられており、多摩川の土手を歩く人々の足下にもその通信網が整備されているのだ。これは、洪水などの災害時にインターネットを通じたリアルタイムの情報の受発信を行い、その対策を講じたり、平時は流域の市民が川に親しむためのツールとして役立っている。具体的には、CCTVカメラ（ライブカメラ）、パソコンやビデオカメラをつないでリアルタイムの映像を送信で

きる情報コンセント、超音波を利用したH・ADCP型流量計、浸水検知センサー、京浜河川事務所の災害対策室マルチビジョン、防災などのインターネット情報、まち中にある河川情報表示板などのネットワークが構築されており、身近なところでもその一部に触れているはずだ。平成十九年二月末現在の多摩川水系における河川管理用光ファイバー整備状況（整備延長）は、右左岸合わせて106.6kmとなっている。さて、多摩川の土手上の所々に建つ柱上に設置されたカメラにお気づきだろうか。これがCCTVカメラ（ライブカメラ）であり、多摩川水系では平成二十三年一月末現在、右岸七一、左岸七五箇所を整備され二十四時間リアルタイムで河川の水位・水量の状況や河川管理施設の監視を行っている。この映像は一旦京浜河川事務所へ集約された後、各自治体、テレビ神奈川、YOUテレビ、イツ・コミュニケーションズ、インターネットへ配信されているので映像を目にした方も多いだろう。また、大師河原水防センター（大師河原干潟館）の河川情報室でもその映像を見ることが出来る。（続く）

た野ネズミたちも。そしてそれらをエサとしている生きものの中にアオダイショウがいます。ネズミを食べるなんてなんだか残酷。またそのすがたから昔から嫌われ者。そばにいると聞いただけで震え上がる人も多いでしょう。しかし、かつて自然が今よりもっと身近だったころ、ヘビたちは私たちの暮らしと関わりがありました。収穫した米をネズミから守る生きものとして、大切にしている農家もあったほど。今でもアオダイショウは都市での目撃例が多くあります。それは彼らがネズミを食べることや、外壁を登ることが得意



多摩川河口に広がる芦原。そこには様々な生きものたちがぐらしています。カニや魚鳥たち。ま



2011年9月1日発行
 < 第18号 >
 大師河原干潟館運営委員会
 発行人 / 小泉茂

ひがた
干潟のゆかいな仲間たち
 文・写真 佐川麻理子
 第18回 アオダイショウ

なことなどが理由かもしれません。冬眠をする彼らを目撃するのは、やはり主に春から夏にかけて。暗くはじめじめした所にいるイメージですが、は主に昼に活動します。時にはグラウンドや路上でばったり出会ってしまふことも。でも無毒で攻撃性はあまり強くありません。そんな時はあわてず、そっと見守ってあげてください。意外にかわいい一面が発見できるかもしれません。

★水ウォーク2011川崎大会

多摩川沿いの自然を満喫しながら、5km、10km、20kmの三コースを歩きます。ゲストウォーカーはバルセロナ五輪などに出場した元マラソン選手の谷口浩美さん。参加者には記念品が用意されています。

- ◎日時／10月10日(月・祝)
 - ◎集合場所／二ヶ領せせらぎ館
 - ◎参加費／高校生以上500円、小学生300円(事前申し込み)
 - ◎主催／川崎市、読売新聞社、NPO法人多摩川エコミュージアム
 - ◎申し込み・問い合わせ／読売新聞東京本社事業開発部「みずウォーク」係
- ☎03(5159)5886

★全国源流サミット in 岡山県新庄村

源流資源が国民的な財産であることの理解と共感を広めることにも、源流流域の環境保全や地域づくりに貢献することを目的に毎年開催されているサミットが本年度は岡山県新庄村で行われます。全国源流の郷協議会に参加する十二町村の首長、林業や源流域に関する活動を行っている市民活動関係者など多様な顔ぶれが参加します。また、翌日には源流の碑建立、新庄川めぐり、森林セラピーで源流散策、環境保全型農業(見学と座学)コースといったエクスカーションも企画されています。

◎日時／10月22日(土)・23日(日)

◎場所／新庄中学校体育館他

◎主催／第二回全国源流サミット実行委員会

◎申し込み・問い合わせ／同実行委員会事務局(新庄村役場内)

☎0867(56)2626

<http://www.vil.shinjo.okayama.jp/>

干潟館広報

9月は防災月間です

- 地震や台風大雨に備えましょう。
- 避難場所の確認、非常持ち出し袋や備蓄品を点検しましょう。

大師河原干潟館イベント情報

9月10日(土) エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中

9月23日(金) だいし水辺の築校
ハゼつり教室と多摩川多面性調査
場所／干潟館 時間／13時～16時

10月8日(土) エコクラフト教室
場所／干潟館 時間／開館中

10月22日(土) だいし水辺の築校
ハゼつり教室
場所／干潟館 時間／13時～16時

※「だいし水辺の築校」の参加費(保険代など含む)は200円です。定員30名となっておりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更する場合がございます。

◎問い合わせ・申込先

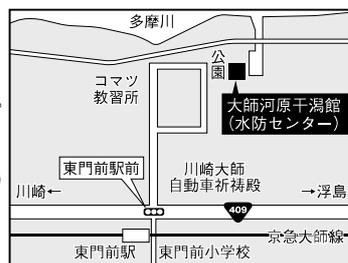
- 川崎市建設緑政局多摩川施策推進課
- ☎044(200)2268
- 大師河原干潟館(水・土・日・祝)
- ☎044(287)7882



ひがた 大師河原干潟館 (大師河原水防センター)

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
 - ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中!

◆お問い合わせ(水・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>

ひがたかんタイムズ

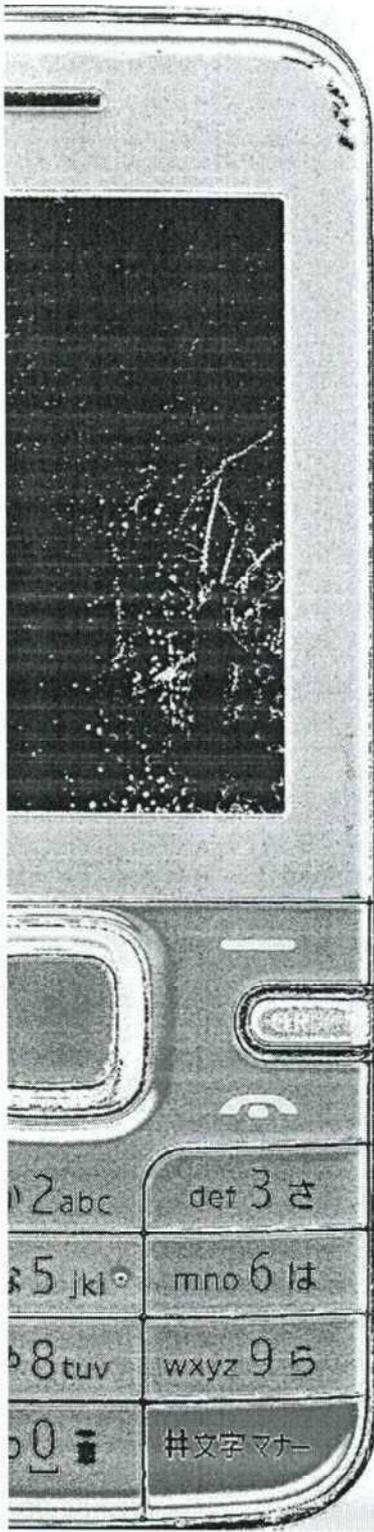
2011年11月1日発行
＜第19号＞
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉 茂

河川防災とIT② マルチコールシステム

光ファイバーネットワークにより構築される通信網内にある防災等の情報を受け取るには、パソコンや携帯電話、スマートフォン等の情報端末でインターネットにアクセスする方法の他に、マルチコールシステムにより配信される情報を手入力する手段がある。マルチコールシステムとは、コンピュータと電話系通信網を統合するシステムで、各種防災情報を収集することにより、電話、フ

クスミリ、携帯端末、パソコン等に情報の提供を行うものである。サーバ等の情報収集系機器を利用することにより、インターネットを含む多種多様な情報メディアに対し、情報の提供を行うことができる。国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所においては「マルチコール・河川浸水情報配信サービス」として、管轄する多摩川、鶴見川、相模川の雨量と水位観測値及び、鶴見地区、新

横浜駅前地区の浸水観測値が基準値を超えたときに、電子メールにより情報配信を行うサービスとして活用されている。このサービスは、パソコンや携帯電話を利用して京浜河川事務所のサイト (<http://www.ktr.mlit.go.jp/keinin/>) にアクセスすれば、誰でも登録及び配信解除が可能である。これと同時に携帯電話により洪水対策情報・雨量・水位の情報を見ることができているケイヒンモバイル (<http://www.ktr.mlit.go.jp/keinin/mn/>) を利用すれば、災害時の情報収集に役立つことだろう。パソコンの普及率が七六％（二〇一一年、内閣府調査）、インターネット利用率が九三・八％（二〇一〇年、総務省調査、※携帯端末含む）となっている現在、市民生活と生命を守るツールのひとつとして、活用しない手だてはない。（続く）



干潟のゆかいな仲間たち

第19回 コサギ

文・写真 佐川麻理子



「シラサギがいた」多くの人がそう呼ぶのは大抵がタイサギかコサギです。実は「シラサギ」という名前の鳥はいません。ただ、これら白いサギの仲間は全身がほぼ真っ白でまるでツルのように優雅に飛ぶため「シラサギ」の名前がぴったりと感じる人も多いでしょう。コサギは長い足で自在に干潟の上を歩きまわり、主に小魚を捕食します。じつとしていたかと思うと、片足で水中をかき回し、隠れている魚を追いかけて、すかさず長いくちばしで捕らえます。体長は六十cmほど。夏には頭のとっぺんから二本の長い飾り羽がピヨンと飛び出します。ここ多摩川河口ではほぼ一年を通して観ることが出来ます。またアオサギやダ

イサギなど他の種類のサギたちと仲良く小さな群れをつくっている様子も見かけられます。最近ではこれらサギの仲間があまりにもポピュラーな鳥になってしまいました。その美しい姿やえさをさがす愉快な様子など、見ていて飽きることはない鳥の一つと言えるでしょう。

★かわさき多摩川博のお知らせ

かわさき多摩川博2011シンポジウム「多摩川が見せるいろいろな顔」が開催されます。本年度のテーマは「多摩川の多面性を知る」。岸由二氏（慶應義塾大学教授）の基調講演の他、多摩川の多面性GPS植生調査や河口干潟観察会など、この一年間に実施された一連の事業報告とパネルディスカッションがあります。みなさんは是非ご参加下さい。

- ◎日時／12月3日（土）13時～17時
- ◎会場／エポックなかはら大会議室
- ◎参加費／無料（申込不要）
- ◎主催／川崎市・NPO法人多摩川エコミュージアム
- ◎問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム
- ☎044（922）1025
- メール npo@senseragikan.com

★多摩川流域セミナーのお知らせ

第37回多摩川流域セミナー「震災を踏まえ、過去に学び将来に活かす」多摩川の川づくり総点検！「治水編」が開催されます。今年三月十一日に発生した東日本大震災では、多摩川流域でも大きな揺れを感じました。震災の報道を見て、自分の住むまちで地震が起きたらどうなるのか？と考えた方も多いと思います。今回のセミナーは、震災を踏まえて多摩川の川づくりを点検します。将来起こるかもしれない大地震や大水害に対して、私たちは何を準備しておけば良いのか、過去に起こった関東大震災や洪水などを知ること、将来の備えを一緒に考えましょう。

- ◎日時／12月10日（土）13時～17時
- ◎集合場所／東急多摩川線矢口渡駅前
- ◎見学地／大田区多摩川大橋周辺
- ◎参加費／200円（保険代など）
- ◎申込締切／12月5日（月）※定員50名になり次第締め切ります。
- ◎主催／多摩川流域懇談会
- ◎申し込み・問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム
- ☎044（922）1025
- メール npo@senseragikan.com

大師河原干潟館イベント情報

11月5日（土）エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中
11月23日（祝）だいし水辺の築校
ひがたんけん

場所／干潟館 時間／10時～12時
12月3日（土）エコクラフト教室
場所／干潟館 時間／開館中
12月17日（土）だいし水辺の築校
かごあみ教室

場所／干潟館 時間／10時～12時
※「だいし水辺の築校」の参加費（保険代など含む）は200円です。定員30名となっておりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

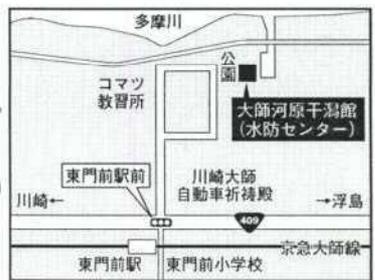
※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

- ◎問い合わせ・申込先
川崎市建設緑政局多摩川施策推進課
☎044（200）2268
- 大師河原干潟館（水・土・日・祝）
☎044（287）7882
- ◎年末年始休館期間
12月29日（木）～1月9日（金）

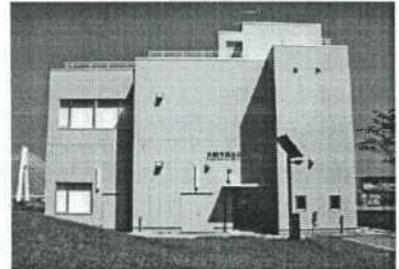
ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料
生きものカードプレゼント中！



- ◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館
Tel：044-287-7882 Fax：044-287-7883
- ◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
Tel：044-200-2268 Fax：044-200-7703 Email：53tamasu@city.kawasaki.jp
http://www.tamariver.info/higatakan/

情報コンセント

ひがたかんタイムズ

2012年1月1日発行
 < 第20号 >
 大師河原水防センター運営委員会
 発行人 / 小泉 茂

情報コンセントって何？ 電気のコンセントと何か関係があるの？と思われる方も多いかもしれない。これは学校や会社、家庭でいうところの情報通信網につなぐために壁などに埋め込まれた接続口のことを指す。最近では電気のコンセントに並んで設置されている場合が多いので、目にする機会も多くなったことだろう。どこでも情報ネットワークに接続できることから、電気のコンセントになぞらえてこう呼ばれており、家電製品などに使われる聞き慣れた言葉に置き換えるなら、モジュラージャックといったところだ。この情報コンセントは防災に役立つ情報インフラストラクチャー（情報基盤）として、国道や河川に敷設が進められており、多摩川でも多摩川水系河川整備計画の広域防災計画に基づき、洪水等の非常時に備えることを目的として、緊急河川敷道路、情報関連施設や河川防災ステーション

などと共に、河川沿いに敷設した光ファイバーケーブルに沿って整備が進められている。パソコンやビデオカメラ、電話を光ファイバーネットワークにつないで、映像・音声・データの送受信を可能とする情報コンセントを活用することにより、情報基地として災害時においてリアルタイムの被災映像の送信など、河川管理のより詳細な情報を素早く入手でき、迅速な対応が可能になった。平成三年（二〇一一年）一月末現在、京浜河川事務所により、多摩川水系では右岸に三四、左岸に四四箇所、鶴見川水系では右岸に二一、左岸に三十、多目的遊水地に二箇所、相模川水系では右岸に五箇所の情報コンセントが設置されている。

東日本大震災の後、人々の防災意識の高まりと共に河川整備に対する関心は変化してきている。日頃何気なく歩いている多摩川の土手の下には、これらのような光ファイバーネットワークが張り巡らされていると考えれば、今までIT社会とは無縁だと思っていた方々や河川整備に疑問を感じていた方々にとって、見えにくかったその取り組みが身近に感じられるようになるだろう。

干潟のゆかいな仲間たち



文・写真 佐川麻理子

第20回 オオバン



冬の多摩川河口に「キュツ」という金属音のような声を響かせる鳥がいます。彼らはオオバン。

クイナの仲間水面を首を振りながら、自在に泳ぎまわります。体長は三八cmほど。コロンと丸い真っ黒なで、くちばしは薄いピンク。つばらな小さい赤い目をしています。足には水かき用のヒレが付いていて、そのため歩くより、水をかいて泳ぐ方が得意ようです。時にはまるで忍者のようにヒレを使って水の上をバシャバシャと走りまわることも。よく似た小ぶりの「バン」にはそのヒレがありません。また「バン」はほぼ一年を通して多摩川河口では見られますが、この「オオバン」は、主に冬の時期に見られます。多い年

には数十羽の群れをつくってやってくることも。河原のアシ原のまわりで首を水面に入れながらエサになる水草や小さな生き物などをさがしていますので、わりと簡単に観察することができます。また「バン」の名前の由来は田んぼの「番」からきているとも。きつと古くから私達の身近な鳥のひとつだったのでしょう。

★川の日ワークショップ関東大会

いま全国では、地域の市民や行政により川や水辺をテーマとした様々な取り組みが展開されています。「いい川とは、いい水辺とは何か」を自由に柔軟に探ろうというのが、第七回川の日ワークショップ関東大会の目的です。公開討論方式により、事前にエントリーした各活動の中からグランプリを決定します。

◎日時／1月22日(日) 10時～16時
◎場所／キユポ・ラ本館棟四階フレンジア(埼玉県川口市)

◎参加費／無料

◎主催／同実行委員会

◎エントリー申し込み・問い合わせ
／NPO法人あらかわ学会

☎03(5284)7885

メール info@arakawa-gakkai.jp

★多摩川流域セミナーのお知らせ

第38回多摩川流域セミナー「震災

を踏まえ、過去に学び将来に活かす多摩川の川づくり総点検！「利水編」が開催されます。前回の多摩川流域セミナーでは、大規模地震や洪水時の備えについて「治水」をテーマに学習を行いました。今回のテーマは「利水」です。大規模な地震や洪水のとき、わたしたちの生活用水はどのようになるのでしょうか。多摩川流域の水道水はどこから来ているのでしょうか。災害時に水を確保するには、どうすればいいのでしょうか。また、その備えは？阪神淡路大震災の事例も参考にしながら、一緒に学び、考えましょう。

◎日時／2月25日(土) 13時～17時
◎集合場所／JR立川駅北口(予定)

◎見学地／玉川上水、小平水衛所他

◎意見交換会場／立川市役所会議室
◎参加費／200円(保険代など)

◎申込締切／2月20日(月) ※定員50名になり次第締め切ります。

◎主催／多摩川流域懇談会

◎申し込み・問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム

☎044(922)1025

メール npo@sesei-gikan.com

大師河原干潟館イベント情報

1月14日(土) エコクラフト教室
自然素材で色々なものをつくろう！
場所／干潟館 時間／開館中
1月21日(土) だいし水辺の築校
凧(たこ) つくり教室

場所／干潟館 時間／10時～12時
2月11日(土) エコクラフト教室
場所／干潟館 時間／開館中
2月18日(土) だいし水辺の築校
野鳥と野草の観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時
※「だいし水辺の築校」の参加費(保険代など含む)は200円です。定員30名となっていますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

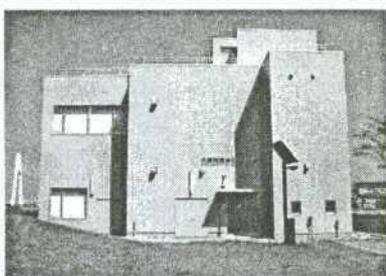
※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。
※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

◎問い合わせ・申込先

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課

☎044(200)2268

☎044(2007)78802



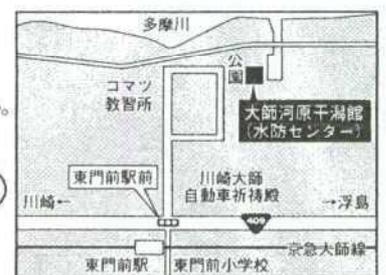
大師河原干潟館 (大師河原水防センター)

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原 1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



入館無料

生きものカードプレゼント中!

◆お問い合わせ(水・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-7703 Email: 53tamasu@city.kawasaki.jp

http://www.tamariver.info/higatakan/